

龍ヶ崎の文化・12月号

平成29年11月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
Email pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www.piakaiso.sakura.ne.jp

年の瀬に思うこと

「ミラーリング」という行為

長く連れ添った夫婦は顔まで似てくると言われていますが、本当のようです。無意識のうちに相手の表情をまねる「ミラーリング」という行為で科学的根拠もあるようです。

自分の顔は、自分で見ることはできません。



相手の表情に合わせて脳の回路が顔の筋肉を動かし、怒ったり笑ったりして、常に相手の感情を解読しているのです。夫婦が長年お互いをミラーリングすれば似てくるといいます。

二人で喜怒哀楽を共に重ねてゆくと情が生まれてきます。情が生まれると、何が起きてもびくともしない、お互いを思いやる優しさが生まれてきます。何事も笑って片づけられるしなやかさと、顔のしわがお互いの宝物になるようです。

朝は、今日も一日楽しく暮らそうと。夜は、今日も一日楽しかったと眠りにつけるように暮らして行きたいと年の瀬に思いました。

新しいことに挑戦したい

40代の時、事故で高次機能障害・失語症になってしまった男性。昨日まで何事もなく出来ていたことが、今日からは、何もかもが出来なくなる障害者になって、生きる気力も失くしてしまいました。奥さまのサポートに助けられ、職場復帰もかない、時間はかかりましたが車の免許も更新できました。その彼が、この体は元のように回復しない。今までやってきたことはもうできない。それなら、今までやらなかったことに挑戦したいと、脳卒中フェスティバルではファッションショーにも、足に装具を付け、自分の意思で出演したと、奥様から嬉しい報告が来ました。

これからは、今までやったことのないサーフィンにもチャレンジして行きたいと、奥様を驚かせています。ここまでの道のりには、色々なことがありました。私は、ただただ奥様の悩みを聞くことしかできなかったけど、困難にぶつかった時、見方を考えチャレンジすることの大切さを彼から教えられました。

障害者になっても認知症になっても、残された機能を活かして、楽しく暮らしてゆきたいですね。

催場所 ショッピングセンターリブラ1階

認知症家族会	12月 1日 (金)	10時30分~12時
うたごえ広場	12月14日 (木)	2時~4時
川柳カフェ	12月16日 (土)	10時30分~12時
笑顔屋	12月20日 (水)	10時30分~12時

12月23日 (金) から1月7日 (日) まで活動はお休みします

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 080-4209-5708